

北九州をめぐるアート展

Found Beauties from Company and Private Collections in Kitakyushu

vol.4



ゲルハルト・リヒター「アブストラクト・ペインティング(芥子)」1986年 ©Gerhard Richter

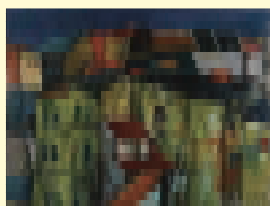
油彩、版画、彫刻作品など 企業・個人秘蔵の美術コレクションを 一堂に公開

北九州市内の企業・個人が所蔵する美術作品を集め、2007(平成19)年から開催している「北九州をめぐるアート展」は、今回で4回目を迎えます。企業・個人蔵ともにめったに公開されない作品ばかりのため、このような展覧会でしか目にすることができない貴重な機会といえるでしょう。

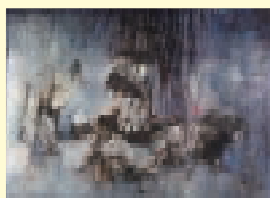
明治時代から日本の近代化を牽引してきた北九州市は多くの企業の発祥地です。それらの企業が経済とは別の側面で地元を支えているのが美術収集で、1974(昭和49)年に西日本の公立美術館の先駆けとして北九州市立美術館が開館して以来、多くの貴重なコレクションを寄贈・寄託し、この街の文化の一端を担ってきました。また市内には作家を支援し作品を所蔵している個人の美術愛好家が多くいます。今回、新たに調査した企業・市民所蔵の作品約20点をご紹介します。アートを通じて企業・市民・行政が協力し合う事は、地域活性を考えるひとつの方法ともいえます。この展覧会で北九州市が産業だけでなく、文化的にも誇れる都市であることをより多くの方に知っていただきたいと思います。



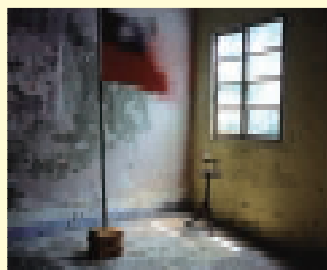
ジュリアン・オビー「Ruth with cigarette 2」2005年
Courtesy of SCAI THE BATHHOUSE



野見山暁治「パリの屋根」1955年



平野遼「青い雪どけ」1959年



栗俣立「#6-3, 37th Alley, 230th Lane Three Places: Photographs 2002 to 2005」2005年



松井冬子「切断された長期の実験」2004年



北九州市立 旧百三十銀行ギャラリー

北九州市八幡東区西本町 1-20-2 TEL093-661-9130

交通案内

JR/八幡駅下車 徒歩5分
西鉄バス/系統番号1番,22番 尾倉町下車 徒歩5分
ギャラリー隣に駐車場有(15台)

